

令和4年度

年 報



福岡市立

めぼえ学園

(児童発達支援センター)

社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団

はじめに

めばえ学園は昭和54年5月に知的障がい児通園施設として設立され、福岡市社会福祉事業団（事業団）が運営を行い44年が経過いたしました。平成18年度には福岡市の指定管理者制度に基づいて事業団が指定管理者として指定を受け、令和元年には「児童発達支援センターめばえ学園」の指定管理者の公募に応募して適格と認められ、継続して管理運営を行っています。

開設当時から現在に至るまで、親子通園部門と単独通園部門を併せ持つという特色を活かし、1歳児から就学前までの支援が必要なお子さまを受け入れ、お子さまの療育とご家族に対する支援を積み重ねております。また、地域支援にも力を注ぎ、幼稚園・保育園等への支援、近隣の方への子育て支援等にも継続して取り組んでおります。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症が流行し3年目を迎えましたが、感染拡大防止対策を継続しながら事業を進めてまいりました。

保護者支援としては、親子通園保護者向けに試行をしていたペアレントトレーニングを、令和4年度からは2歳児保護者を対象として本格的に実施しました。また、先輩保護者の話を録画し上映する学習会を実施するなど、コロナ禍でも無理なく実施できる方法を検討しながら保護者支援に努めました。

地域支援としては、幼稚園、保育園に通うお子さまを対象とした外来療育グループ「おひさまクラブ」や園庭開放、地域の施設（那珂会館）を利用して遊びを提供する「めばえ広場」等を実施し、地域のお子さまや保護者の子育て支援に努めました。

また、幼稚園、保育園、放課後等デイサービスの先生方を対象とした「公開講座・公開療育」を実施し、定員を超える申込みをいただきました。参加者からは「講座を聞いた後に実際の療育場面を見ることができ、講座の内容がより理解できた」との感想をいただきました。今後も障がい児の理解と支援者のスキルアップを目指した取り組みに力を入れていきたいと考えております。

これからも支援が必要なお子さまやご家族が地域の中で安心して心豊かに生活できるよう、職員一同なお一層の研鑽に努めたいと思います。

最後になりましたが、令和4年度も地域の皆さま、ボランティアの皆さま、関係機関の皆さまのご支援をいただきながら運営できたことに心から感謝申し上げます。今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和5年11月

児童発達支援センター
福岡市立めばえ学園
園長 住吉 真美

【目次】

I	施設の概要	1
1	施設の目的	
2	療育目標	
3	療育形態	
4	療育内容	
5	通園の状況	
6	平面図	
7	職員体制	
II	医療的ケア児・配慮児への対応	9
1	医療配慮児の状況	
2	指導医派遣事業	
3	看護状況	
4	医療配慮児会議	
5	その他	
III	給食	11
1	給食方針	
2	給食基準	
3	献立	
4	調理状況	
5	食形態状況	
6	食育活動	
7	給食会議	
8	その他	
IV	保護者・家族支援	14
1	保護者学習会	
2	家庭訪問	
3	新入園児保育見学・保育参観	
4	きょうだい児保育	
5	おでかけママ	
6	めばえレクリエーションクラブ	
7	きょうだい児託児	
8	めばえ学園卒・転園児支援	
9	同窓会	
V	障がい児相談支援事業	17
1	利用計画等作成件数	
2	相談支援専門員による相談支援	
3	ネットワーク会議等への参加	
VI	日中一時支援事業	19
1	概要	
2	利用実績	
VII	幼稚園、保育園等支援	20
1	おひさまクラブ	
2	相談支援	
3	保育所等訪問支援	
4	公開講座・公開療育	
5	さぽーと保育研修	
6	講師派遣	
VIII	地域の子育て支援	23
1	めばえ広場	
2	園庭開放	
IX	その他	24
1	実習受け入れ実績	
2	ボランティアの活動状況	
3	職場内研修	
4	派遣研修	
5	講師派遣	
6	その他	

I 施設の概要

めばえ学園は知的障がい児の通園施設として、1～2歳児の親子通園部門と、3～5歳児の単独通園部門を併せもつ療育施設として昭和54年5月に開園し、44年が経過した。

1 施設の目的

- 心身の発達の遅れや不自由さを持つお子さまの育ちを支えます。
- ご家族の方が安心して子育てできるよう支援します。

2 療育目標

適切な環境の中で一人ひとりの状態に応じた支援を行い、発達上の諸問題を改善し、身体的、精神的、社会的な成長発達の基礎能力を育てます。

<園のめざす子ども像>

- 元気で楽しく通える子に
- 自分でできることが増えていく子に
- 人へのかかわりが広まっていく子に
- 意欲や興味関心が高まっていく子に

3 療育形態

(1) 定員等

1日定員 親子通園部門10人 単独通園部門30人 計40人

(2) クラス編成

①親子通園部門（年度末在籍数19人）

たんぽぽ組（1歳児）週1回 1クラス（水）5人

（2歳児）週2回 2クラス（月・木）（火・金）各クラス7人

②単独通園部門（年度末在籍数45人）

ちゅうりっぷ組 9人（3歳児 6人、4歳児 3人）

もも組 12人（3歳児 11人、4歳児 1人）

ゆり組 12人（4歳児 5人、5歳児 7人）

ばら組 12人（3歳児 1人、4歳児 4人、5歳児 7人）

(3) 通園方法

①親子通園部門

1～2歳児の知的障がい児が保護者と同伴で通園バス、自家用車等で通園した。

②単独通園部門

3～5歳児の知的障がい児が保護者のもとから通園バス、自家用車等を利用して通園した。

(4) 1日の主なスケジュール

時間	親子通園部門	単独通園部門
10:00	登園 朝の準備、自由遊び おやつ（水分補給） 朝の集まり	登園 朝の準備、着脱、排泄 自由遊び（園庭／集会室） 水分補給 朝の集まり
11:00	設定保育 自由遊び（園庭／集会室）	設定保育 自由遊び（園庭／集会室）
11:40	給食、歯みがき	
12:00		給食、歯みがき
12:20	自由遊び／午睡（親子分離）	
13:00		自由遊び
13:30	帰りの集まり	
14:00	降園	帰りの準備、着脱、排泄
14:30		水分補給 帰りのあつまり
15:00		降園

4 療育内容

(1) 親子通園部門

小集団での遊びや生活を通して、基礎的な力を育てるために年間の保育計画を立て、毎月課題を設定した。保護者と相談しながら個別支援計画の中で子どもの発達に応じた「目標」を掲げ、保護者には子どもに適した遊びの提供や、対応について具体的にアドバイスをし、家庭での子育てに役立つよう支援した。

また、保護者同士の情報交換や交流の場を提供した。

(2) 単独通園部門

「身体の育ち」「知覚の育ち」「社会性の育ち」を療育の柱に、各クラスごとに年間や月間の計画を立て、毎日課題を設定した。自由遊びでは、クラス間の交流の機会を持ち、コミュニケーションの場を広げるようにした。保護者と相談しながら個別支援計画の中で子どもの発達に応じた「目標」を掲げ、保護者には学習会や懇談会、面談、連絡帳等で子どもの状況を伝え、具体的にアドバイスをし、保護者との連携を図った。

(3) 事業団のネットワークを活かした専門的な支援

障がい児の地域での生活を支えることを目的とした事業で、事業団が福岡市から受託し、あいあいセンター等で実施している。この事業を利用して、専門職（小児科医・ST・OT等）と連携した療育や保護者支援を提供した。

小児科診察相談会

派遣依頼施設 : あいあいセンター療育課相談支援係 (小児科医)
内容 : 医学的診断、育児相談、療育相談、進路相談、ケースカンファレンス等
訪問回数 : 7回 (親子 11ケース 単独 24ケース)

S T (言語聴覚士) 訪問

派遣依頼施設 : あいあいセンター療育課療育第2係
内容 : 個別言語相談、保護者支援、食事指導、ケースカンファレンス等
訪問回数 : 親子 7回 (11ケース)
単独 12回 (26ケース)
内容 : 保護者学習会
訪問回数 : 親子 3回
単独 1回

O T (作業療法士) 訪問

派遣依頼施設 : あいあいセンター療育課療育第1係
内容 : 運動、感覚、日常生活動作に対する支援、食事指導、ケースカンファレンス等
訪問回数 : 親子 2回 (13ケース)
単独 2回 (45ケース)
内容 : 保護者学習会
訪問回数 : 親子 2回
単独 1回

視機能・見え方相談会

派遣依頼施設 : あいあいセンター療育課療育第3係
内容 : 視覚チェック、見え方相談、保護者支援、ケースカンファレンス等
訪問回数 : 視機能検査 3回 親子 (13ケース)
3回 単独 (36ケース)
内容 : 保護者学習会
訪問回数 : 親子、単独 3回

(4) 音楽療法（リトミック）

平成22年度から、リトミックを療育に取り入れ事業として実施した。

- 目的：・音楽療法士による療育を実施し、音楽を通して園児の情操、感性を育てる。
・音楽療法士と保育士等が連携し、より専門性の高い支援を提供する。
・音楽療法に関する基礎知識や支援技術について学び、職員の技術向上を図る。

講師：西林 淑子 氏（日本音楽療法学会認定音楽療法士）

実施方法

- ①年間計画作成 ②打ち合わせ、観察 ③セッション（1クラス30分）
④実施記録記入、クラスカンファレンス、全体カンファレンス（ビデオを視聴等）

実施内容

ピアノに合わせた即時反応、身体表現、楽器でのリズム遊び、遊具での身体表現、集団遊びを行った。

①単独通園部門

活動を通じてピアノの音に集中し、音を聴いて、判断して行動するといった力が身についた。日々の保育の中で音楽療法の中で行ったリズム遊びや楽器遊び等の活動を取り入れた。

②親子通園部門

2歳児の2クラスに、各1回実施した。親子で身体を動かし、歌ったりする楽しさを味わうとともに、保護者への情報提供の場とした。

実施回数

実施月	セッション		カンファレンス
	単独部門	親子部門	
11月	6回	—	6回
12月	8回	—	8回
1月	2回	2回	4回
2月	4回	—	5回
計	22回		23回

(5) 主な年間行事

月	親子通園部門	単独通園部門
4	新入園児契約、入園説明会 新年度オリエンテーション 新年度面接	新入園児契約、入園説明会 入園式
5	個別面談	個別面談
6		日曜参観
7		
8	夏休み	就学相談会資料開示 夏休み
9	個別面談 単独通園施設見学（2歳児）	就学相談会 個別面談
10		運動会
11	おでかけママ（2歳児）	
12	クリスマス会 おでかけママ（2歳児） 冬休み	クリスマス会 冬休み
1	おでかけママ（2歳児）	
2		
3	個別面談、おでかけママ（2歳児） お別れ会（2歳児） お楽しみ会（1歳児） 春休み	個別面談 お別れ会 卒園式 春休み
その他の行事	避難訓練、園長懇談	避難訓練、誕生会、クラス懇談会、 園長懇談、家庭訪問
健康診断等	歯科検診（年2回）、内科検診（年2回）、視機能検査（年3回）	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の行事の実施を見送った。
単独 きょうだい児保育参加、試食会、クッキング保育、バイキング給食

※雨天のため、以下の行事の実施を見送った。
単独 遠足

5 通園の状況

(1) 在籍児の状況

(単位：人)

区分		親子通園部門			単独通園部門			計
		1歳児	2歳児	3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
性別	男	5	11	0	15	10	11	52
	女	0	3	0	3	3	3	12
障がい程度	重	0	1	0	3	3	0	7
	中	0	4	0	1	2	4	11
	軽	5	9	0	14	8	10	46
居住地(区)	東	0	0	0	2	2	4	8
	博多	3	8	0	16	11	10	48
	中央	0	0	0	0	0	0	0
	南	2	6	0	0	0	0	8
	城南	0	0	0	0	0	0	0
	早良	0	0	0	0	0	0	0
	西	0	0	0	0	0	0	0
	市外	0	0	0	0	0	0	0

※令和5年3月末現在

(2) 在籍児数の推移

① 親子通園部門

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入園	6	0	0	0	2	2	2	0	0	2	0	0	14
退園	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13
月末在籍	12	12	12	12	14	16	18	18	18	20	19	19	—

② 単独通園部門

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入園	19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	21
退園	16	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	18
月末在籍	45	44	45	45	45	44	44	44	44	44	45	45	—

(3) 月別療育日数・在籍児数

① 親子通園部門

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
療育日数 (日)	15	19	22	20	16	19	20	20	17	15	18	17	218
在籍数 (人)	12	12	12	12	14	16	18	18	18	20	19	19	190
要延療育 人数(人)	70	91	99	91	74	106	120	123	106	102	118	111	1,211
延療育 人数(人)	56	53	77	47	50	79	82	84	72	63	83	94	840

② 単独通園部門

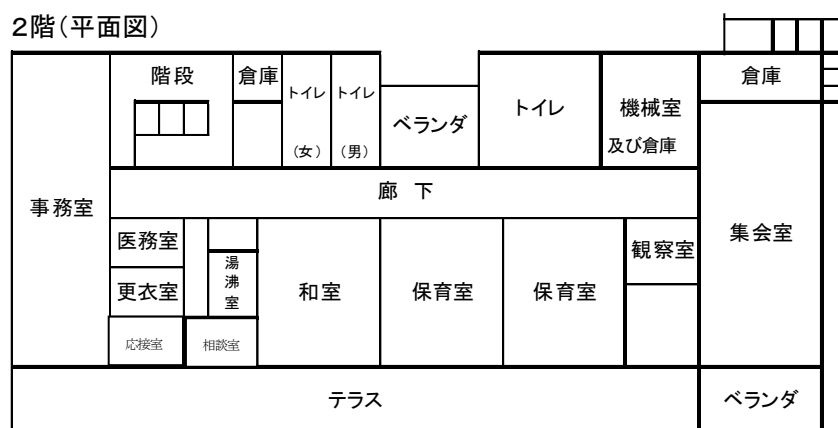
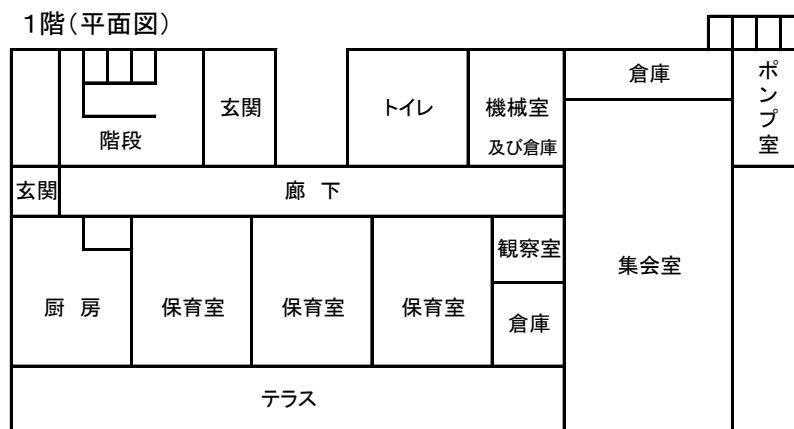
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
療育日数 (日)	18	19	22	20	16	19	20	20	18	16	19	17	224
在籍数 (人)	45	44	45	45	45	44	44	44	44	44	45	45	534
要延療育 延人数(人)	668	733	977	852	684	818	880	880	747	659	785	734	9,417
延療育 人数(人)	540	577	837	611	547	631	722	662	519	505	591	617	7,359

(4) 進路状況

進路先	人数
知的障がい単独通園施設	8
児童発達支援事業所	1
幼稚園・保育園等	7
知的障がい特別支援学校	6
小学校特別支援学級(知的)	7
小学校通常級	1
その他	2
計	32

※令和5年3月末現在(年度途中の転園、退園含む)

6 平面図



7 職員体制

(単位：人)

職 種	職 員	特定業務任用職員
園長	1	
児童発達管理責任者	1	
児童指導員	1	2
保育士	5	8
栄養士	0	1
調理業務員	0	1
事務員	0	1
看護師	0	1
相談支援専門員	0	1

※令和5年3月末現在

II 医療的ケア児・配慮児への対応

医療ケア・配慮を必要とする児の自立を促すとともに、保護者の負担軽減を図るために、当園指導医（あゆみ学園診療所長）の協力を受け、健康で安全に活動できる環境を整備し、受け入れを行った。

1 医療配慮児の状況

(単位:人)

区分	主な疾患名	必要なケア、支援	人数
医療的 ケア児	慢性肺疾患、続発性肺高血圧症	吸引、酸素管理、気管切開管理、吸入、SPO2 測定、体調管理 等	1
	先天性心疾患	酸素管理、SPO2 測定 等	1
医療的 配慮児	食物アレルギー（アナフィラキシー歴有）	除去食の提供、個別マニュアル作成 等	1
	食物アレルギー（アナフィラキシー歴有） アレルギー体質	除去食の提供、全身の保湿、服薬確認、 ハウスダスト対策 等	1
	てんかん	発作・発熱時対応 等	1

2 指導医派遣事業

(1) 指導医による診察

小児科診察相談会の対象者であったため並行して実施した。

(2) 園内研修

全職員対象に、指導医による「医療的ケア児の疾患と療育上の注意点、感染対策」をテーマに研修を行い、医療的ケア児への認識を深めた。

3 看護状況

- ・慢性肺疾患児：吸引 0-2 回/日（体調不良時 15 分-1 時間毎）
 体調・活動により酸素流量を適宜調整
 発熱による抗けいれん薬の予防投与、解熱剤使用 4 回/年
 吸入 1 回/年
 その他、脱水対応など
- ・てんかん児：全般発作 1 回（ダイアアップ挿肛後、救急搬送）
 発熱による抗けいれん薬の予防投与 1 回
- ・アレルギー児：ハウスダスト対策、エアレックスマット導入
 全身保湿 1 回/日
 抗アレルギー薬内服確認（登園時）
 石灰吸入での呼吸器症状による病院受診 1 回
- ・その他：打撲等による病院受診 7 名

4 医療配慮児会議

医療ケア児・配慮児の経過報告や保育中の安全な対応、感染管理について検討するため、園長、看護師、保育士（部門主任、クラス主任、児童発達管理責任者）による会議を月1回実施した。

5 その他

- ・医療ネグレクト児が診察・治療を受けられるよう関連機関と連携をとり支援した。
- ・プール期間中、塩素刺激で皮膚トラブルが起こる園児に対し、プール後に保湿剤などの塗布を行った。
- ・ウエスト症候群児は内服薬の副作用による体温上昇が季節関係なくあり、衣服の調整、クールネックの使用、室温調整を要した。

Ⅲ 給食

1 給食方針

- (1) 安心、安全で手作りの食事を提供する。
- (2) 季節の旬の食材、新鮮な食材を使用する。
- (3) 薄味でも食材の美味しさを活かした食事作りを行う。
- (4) 栄養のバランス、色彩などを考えた献立作りを行う。
- (5) 国産の食材を使用し、化学調味料、添加物などは使用しない。

2 給食基準

厚生労働省の定めた「日本人の食事摂取基準（2020年度版）」に基づいて給食栄養目標量を設定し、昼食（デザート及び飲み物を含む）相当分で37%とした。

区分	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (g)	鉄 (g)	ビタミン			
						A(μg)	B1(mg)	B2(mg)	C(mg)
目標	491	16.0~24.6	10.9~16.4	214	2.0	165	0.26	0.30	22
平均	496	21.7	17.2	234	2.2	248	0.32	0.35	31

3 献立

米、パン、麺がそれぞれ喫食できるように配慮し、主食、主菜、副食、汁物、デザート、牛乳で構成し、できるだけ多くの食品に触れられるように献立を作成した。

4 調理状況

年間食数

(単位：食)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親子	49	47	77	45	45	60	79	84	71	61	82	79	779
単独	424	504	803	602	546	602	673	659	511	501	583	561	6,969
日中一時	0	0	0	1	0	0	5	1	1	1	1	0	10
計	473	551	880	648	591	662	757	744	583	562	666	640	7,757

5 食形態状況

咀嚼力、嚥下力、偏食等、個人に対応した食事を提供し、アレルギー児に対しては、それぞれの食品に置き換えた代替食、または除去食を提供した。

(単位 : 食)

区分	除去食	粗みじん	みじん	肉粗みじん	野菜粗みじん	麺3cm	麺1cm	軟飯	白ごはん	パン一口	合計
4月	22	42	0	1	9	25	9	7	16	4	135
5月	33	52	0	3	6	31	3	5	27	14	174
6月	50	58	1	3	4	37	7	10	45	20	235
7月	37	38	0	0	4	32	3	5	30	13	162
8月	35	13	0	3	0	29	6	8	33	17	144
9月	32	30	0	1	0	15	2	9	37	16	142
10月	44	35	0	0	0	34	4	10	30	22	179
11月	51	32	0	0	0	30	4	8	33	17	175
12月	34	17	0	0	0	10	1	5	29	26	122
1月	33	17	0	0	0	15	1	13	29	15	123
2月	43	31	0	0	0	14	1	10	33	17	149
3月	40	27	0	2	0	25	1	13	22	0	130
計	454	392	1	13	23	297	42	103	364	181	1,870

アレルギー児 (単位 : 人)

卵	乳製品
2	2

6 食育活動

食育への取り組みとして下記のことを実施した。

- (1) アレルギー児も皆と一緒にメニューが食べられる「仲良し給食の日」を実施した。
その際、郷土料理などを取り入れ、その地域の文化に触れることができるようにした。（「食育のじかん」配布、ホームページへ掲載）
- (2) ハロウィンやクリスマス、節分などの際に行事を意識した食事を提供した。

区分	行事食
8月	沖縄の郷土料理
10月	宮崎の郷土料理
11月	長崎の郷土料理
11月	大分の郷土料理
12月	熊本の郷土料理
2月	節分の日
3月	ひな祭り・卒園メニュー

- (3) プランターで育てた野菜を園児と収穫し、野菜を身近に感じさせる取り組みをした。また、自分で収穫したことが野菜に興味を持ち「食べてみよう」という意欲を持つことに繋がるなど偏食指導としての効果もあった。
- (4) 給食時に栄養士、調理師が各クラスを巡回し、食事状況の確認や食事指導などをしながら園児全員の嗜好、喫食状況を把握し園児一人ひとりに合った食事を提供するよう努めた。

7 給食会議

園長、給食担当職員、看護師、児童発達支援管理責任者、クラス担任により、給食についての情報交換を月1回行った。

8 その他

- (1) 「給食だより」や、ホームページ、掲示物等でレシピ・食育・衛生等の情報を提供した。
- (2) 個人の摂食状況に対応した食器類（ガード皿、角皿、スプーン等）を使用した。
- (3) 親子通園児の保護者対象に学習会を実施した。単独通園児の保護者対象に栄養や衛生に関する資料を配布した。
※例年、単独通園児の保護者対象に試食会・学習会を実施しているが、新型コロナウイルスの影響で実施が出来なかったため代替え案として実施した。
- (4) 咀嚼訓練として、必要な園児にはパンスティックを提供した。

IV 保護者・家族支援

1 保護者学習会

保護者が、子どもへの理解を深め育児に役立つ専門的な知識を得るために保護者学習会を実施した。

実施状況

月	親子通園部門 (対象児)	単独通園部門 (対象児)
4	・生活習慣について (2歳児)	
5	・園生活について (2歳児)	・福祉制度について (3歳～5歳児) ・日中一時支援について (3～5歳児) ・生活習慣について (3～5歳児) ・就学について (5歳児)
6	・進路について (2歳児) ・福祉制度 (2歳児) ・ST学習会 (2歳児)	・先輩保護者の体験談 (4・5歳児) ・卒園後の余暇時間について (5歳児) ・ペアレントトレーニング (3・4歳児)
7	・先輩保護者の体験談 (2歳児) ・ペアレントトレーニング (2歳児)	・進路について (3・4歳児) ・先輩保護者の体験談 (3・4歳児) ・ペアレントトレーニング (3・4歳児)
8	・ペアレントトレーニング (2歳児) ・歯科学習会 (1・2歳児) ・ST学習会 (2歳児)	・見え方学習会 (3～5歳児) ・歯科学習会 (3～5歳児)
9		・OT学習会 (3～5歳児)
10	・見え方学習会 (2歳児) ・OT学習会 (2歳児)	・ペアレントトレーニング (4・5歳児) ・見え方学習会 (3～5歳児) ・ST学習会 (4・5歳児)
11	・健康について (2歳児) ・栄養について (2歳児) ・OT学習会 (2歳児) ・生活リズムについて (1歳児) ・ST学習会 (1歳児)	・ペアレントトレーニング (4・5歳児)
12	・健康について (1歳児)	・ペアレントトレーニング (4・5歳児)
1	・進路について (1歳児)	・サポートブック学習会 (5歳児) ・ペアレントトレーニング (3～5歳児)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下学習会の実施を見送った。

単独 給食試食と栄養についての学習会

2 家庭訪問

在園児の家庭状況を把握するために家庭訪問の実施を予定していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者から希望があがった家庭、また配慮が必要と考えられる家庭のみ実施した。親子0組、単独8組で実施した。

3 新入園児保育見学・保育参観

例年は保護者に保育に参加していただき、園での子どもの様子を見てもらうことを目的に保育参加を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「一日保育体験」を「新入園児保育見学」に、設定保育への部分的な参加である「保育参加」を「保育参観」に置き換えて実施した。

実施状況

区 分	日 数 (日)	のべ参加人数 (人)
新入園児保育見学	7	17
保育参観	16	24
合計	23	41

4 きょうだい児保育 (3歳以上～小学生まで)

園児のきょうだい児に療育を体験してもらい、園児への理解と交流を深めてもらうことを目的として、きょうだい児の保育参加を行っている。単独部門は、きょうだい児の夏休み時期に、親子部門は、夏休み、冬休み等の時期に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送った。

5 おでかけママ

親子通園部門では、保護者のリフレッシュを目的に分離保育を実施した。対象は2歳児で、時間は10:30～13:30とし、8回実施した。

6 めばえレクリエーションクラブ

保護者同士の交流を目的にレクリエーション等を実施した。内容は、親の会役員と協議して決定し、今年度は新型コロナウイルス感染拡大対策を行った上で、10月に園庭清掃・懇談会を、2月に園との共催で「就学について」の懇談会を実施した。参加者は10月清掃15名 懇談会10名 2月懇談会11名の参加者であった。

7 きょうだい児託児

保護者学習会に保護者が参加しやすいように、きょうだい児の託児を行っている。

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、きょうだい児の託児は行わなかった。

8 めばえ学園卒・転園児支援

平成25年度から卒・転園児の支援として、電話相談、学習会やイベント等の情報提供、個別相談を行っている。

(1) 対象 : 親子、単独通園の卒・転園児とその保護者（小学校入学前まで）

(2) 支援内容

保護者 : 学習会、イベント等の紹介と電話相談及び個別相談

(3) スタッフ : 親子通園部門の職員2名が担当

(4) 在籍数 : 計6人

5歳児 : 0人

4歳児 : 0人

3歳児 : 6人（幼稚園 : 4人 保育園 : 2人）

(5) 支援状況 : 電話相談 : 12件

9 同窓会

単独通園部門では、開園して2年目の昭和55年度から同窓会を開始している。昭和55年度から60年度までは、園行事として在園児も含めて全ての卒転園児を対象に毎年実施していた。しかし、卒転園児の累積数が増え、参加人数が多くなったこともあり、昭和61年度からは、卒転園児（小学1年生から高校3年生まで）のみの参加とした。

また、昭和63年度からは、参加人数の増加に伴い、会場を障がい者スポーツセンター（さん・さんプラザ）へと移し、3年に1度の行事とした。

今年度を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

V 障がい児相談支援事業

平成24年4月の障害者自立支援法・児童福祉法の一部改正に伴い、平成27年度から福岡市の指定を受け、指定障がい児・指定特定相談支援事業所として、障がい児相談支援事業を実施している。

1 利用計画等作成件数

児童発達支援などの障がい児通所支援の利用に際し「障がい児支援利用計画」等の作成を行った。

	計画案作成件数	計画作成件数	モニタリング
請求		69件	69件
実績	68件	69件	121件

2 相談支援専門員による相談支援

相談支援専門員が、来所面接・電話・訪問などの方法により相談に応じる。各種福祉サービスの利用に関する相談、関係機関との連絡調整、その他難しさを抱えている家庭の相談対応を行っている。延べ支援件数は、696件。実人数は、103人（令和4年4月1日～令和5年3月31日に相談支援専門員が相談に応じた人数）であった。

3 ネットワーク会議等への参加 計23回

- ・博多区相談支援ネットワーク会議 2回
 - …博多区内の指定特定相談支援事業所との連携会議
- ・はかた暮らしネットワーク（博多区ネットワーク会議）1回
 - …博多区内の生活介護、居宅介護、グループホーム、短期入所、指定特定相談支援事業所等との連携会議
- ・博多っ子★未来ネットワーク会議（博多区子どもネットワーク会議）2回
 - …博多区内の障がい児相談支援事業所、博多区のスクールソーシャルワーカー、博多区内の放課後等デイサービス事業所等との連携会議
- ・相談支援連絡会 3回
 - …福岡市内の児童発達支援センターを運営する法人の障がい児相談支援事業所との連携会議
- ・事業団相談支援会議 12回
 - …心身障がい福祉センター、東部療育センター、西部療育センター、あゆみ学園との連携会議

- ・東と博多の重症心身障害児・医療的ケア児ネットワーク会議 3回
- …東区、博多区内で重症心身障害児・医療的ケア児の支援をしている訪問看護ステーション、相談支援事業所、放課後等デイサービス、生活介護等の連携会議

VI 日中一時支援事業

保護者または家族の疾病、事故、出産、仕事その他の理由により家庭において保護を受けることが困難となった児童を一時的にお預かりする事業で、めばえ学園では平成18年10月から実施している。

1 概要

(1) 対象

1歳児から就学前までの児童で「福岡市地域生活支援事業受給者証」を取得し、当園と契約をした方

(2) 利用日

開園日（ただし、園行事などにより対応が困難な日は除く）

(3) 利用時間および利用人員

9:30～17:00 1人 / 13:00～17:00 2人

2 利用実績

(1) 契約児の状況

(単位：人)

月	契約児数	新規契約	契約終了	契約児の障がい種別				
				知的障がい	肢体不自由	発達障がい	重症心身障がい	遷延性意識障がい
4月	27	5	9	25	1	0	0	1
5月	26	0	1	24	1	0	0	1
6月	26	0	0	24	1	0	0	1
7月	26	0	0	24	1	0	0	1
8月	26	0	0	24	1	0	0	1
9月	28	2	0	26	1	0	0	1
10月	27	0	1	26	0	0	0	1
11月	28	2	1	27	0	0	0	1
12月	27	0	1	26	0	0	0	1
1月	26	0	1	25	0	0	0	1
2月	25	0	1	24	0	0	0	1
3月	24	0	1	23	0	0	0	1

(2) 利用の状況

開園日数	実施日数	実施回数	利用実人数
191日	140日	281回	14人

Ⅶ 幼稚園、保育園等支援

地域福祉の視点にたって、当園の施設機能や人材を地域の方に提供することで、当園の活動内容や役割について理解していただくとともに、情報発信や交流の場として地域に根差した支援活動を行った。

1 おひさまクラブ

幼稚園、保育園(所)等に在籍する子どもの保護者の情報交換、交流の場を提供するとともに、子育てについての悩みや不安などについての相談に応じた。また、子どもには適切な遊びの提供を行った。この事業は平成16年5月から実施している。

おひさまクラブ

対象 : 博多区周辺に居住する、または当園を卒・転園した3～5歳児の障がいのある子どもとその保護者

療育形態 : 5月～8月・11月～2月までの月1回

火曜日 15:30～16:30 (計25回)

スタッフ : (保護者担当) 保育士等4人 (子ども担当) 保育士等8人

支援内容

(単位：人)

月	内 容		在籍 人数	参加 人数
	保護者	子ども		
5月	親子あそび（3・4歳児） オリエンテーション（5歳児）	親子あそび 運動あそび	34	22
6月	親子保育（3歳児） 園生活について（4歳児） 就学について（5歳児）	運動あそび 運動あそび ワークあそび	35	30
7月	親子保育（3歳児） 保育参観（4歳児） サポートブック（5歳児）	集団あそび 自由画 集団あそび	32	21
8月	保育参観（3歳児） 就学について（4歳児） 放課後デイについて（5歳児）	自由画あそび 運動あそび お楽しみ会	32	18
11月	ほめ方について①（3歳児） コミュニケーションについて （4歳児）	運動あそび 集団あそび	31	20
12月	ほめ方について②（3歳児） 手指操作について（4歳児）	紙あそび 集団あそび	31	22
1月	園生活について（3歳児） ほめ方について（4歳児）	集団あそび 集団あそび	32	17
2月	親子保育（3・4歳児）	お楽しみ会	32	13
合 計			259	163

※ 在籍、参加人数は子どもの人数

※3歳児グループ8月、4歳児1グループ5月、5歳児7月は、園の学級閉鎖のため、実施を見送った。

※5歳児グループは、9月以降希望者に対しての相談対応とした。

2 相談支援

今年度、相談支援専門員が支援した相談支援事業とは別途に、通園児、卒園児および市民からの子どもの発達や福祉制度などについての問い合わせ18件に訪問等で対応した。

(訪問) 8件 (電話相談) 3件 (来園) 7件 (その他) 0件

3 保育所等訪問支援

障がい児支援に関する知識及び経験、技術を有する訪問支援員が保育所等の集団生活を営む施設に訪問し、集団生活適応のための専門的な支援を行うもので、平成28年4月以降福岡市から指定を受け実施している。今年度の契約者は4人。

4 公開講座・公開療育

当園近郊の幼稚園・保育園(所)・放課後等デイサービス等の職員を対象に、知的障がい児通園施設の療育について理解を深め、障がい児支援に役立ててもらうことを目的に実施している。午前中は講義、午後は療育見学を実施し、講義19人、見学19人の参加があった。

講義：「発達を促すポイントと実際」坂田 智子(保育士)

日時：令和4年12月2日(金) 9:30～11:45

見学日時：令和4年12月 2日(金) 13:20～14:45 7名

令和4年12月14日(水) 13:20～14:45 7名

令和5年 1月26日(木) 13:20～14:45 5名

※今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、見学日を3日に分けて行った。

5 さぼーと保育研修

さぼーと保育研修として5園、5人(内1名看護師)の実習を受け入れた。

6 講師派遣

「発達障がい児」等についての支援のあり方など、幼稚園・保育園の職員等を対象に、当園の職員を講師として派遣している。今年度は、依頼がなかったため講師の派遣は行わなかった。

VIII 地域の子育て支援

1 めばえ広場

地域の乳幼児および保護者に遊び場、交流の場を提供すると共に相談の機会を設けることを目的として実施している。

(単位：人)

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
大人	-	6	-	-	-	5	4	-	-	-	15
子ども	-	6	-	-	-	6	4	-	-	-	16
合計	-	12	-	-	-	11	8	-	-	-	31

※5月、12月は園内で学級閉鎖のため中止。

7月、8月、9月、1月はコロナ感染者急増のため中止。

2 園庭開放

めばえ学園の園庭を地域の乳幼児およびその保護者に開放し、安全なあそびの場、地域交流の場を提供した。

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	4	8	6	5	3	5	7	8	7	5	7	5	70
大人	0	0	1	0	0	0	2	1	0	2	3	0	9
子ども	0	0	1	0	0	0	2	1	0	2	3	0	9
合計	0	0	2	0	0	0	4	2	0	4	6	0	18

Ⅸ その他

学校や施設等からの依頼により実習を受け入れた。また、地域ボランティア等の協力を得て教材作成や託児、クリスマス会等を実施している。

1 実習受け入れ実績

実習内容	大学、施設等	人数(人)	延べ実習日数(日)
保育実習	精華女子短期大学	2	20
	福岡医療秘書福祉専門学校	1	10
介護等体験実習	筑紫女学園大学	1	5
	福岡女子大学	1	5
体験実習	さぼ〜と保育研修	5	5

2 ボランティアの活動状況

内容	延べ人数(人)
教材作成	0
きょうだい児託児	0
学習会中の託児(親子・単独)	0
療育の補助	0
行事	22
清掃・草取り等	0
めばえ広場	7
外来療育(おひさまクラブ)	0
計	29

※ボランティア交流会を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送った。

3 職場内研修

期日	研修内容	講師
4/14	医療ケアへの対応	宮崎 千明
5/19	コミュニケーションに必要なマナーについて	住吉 真美
6/22	サービスについて	住吉 真美
7/25	アレルギーについて	国立病院機構福岡病院アレルギーセンター
8/22	アロマセラピーについて	小波 要子氏
9/28	個人情報の保護について	今村 千草
10/20	人権について	住吉 真美
11/25	虐待防止研修	保坂 正勝氏

4 派遣研修

期日	研修名	参加者	派遣先
5/24	保健・衛生研修会	調理業務員	福岡市
6/6	安全運転管理者講習会	園長	福岡市
6/15	スクールソーシャルワーカーの仕事	コーディネーター	福岡市
7/30	発達障がい児者への切れ目のない支援★	保育士	
8/3	いきいきセンターとは★	コーディネーター	
10/25, 11/1	放課後等デイサービス児童発達支援初任者研修★	保育士	
11/1, 2	甲種防火管理新規講習	園長	福岡市
11/10	上級救命講習	看護師	福岡市
11/16	母子保健指導者養成研修★	栄養士	
11/5, 11/26	自閉症スペクトラム支援者養成研修	保育士	福岡市
12/6, 1/19	児童発達管理責任者更新研修★	園長、保育士	
3/20	児童福祉施設等職員向けアレルギー研修会	調理業務員	福岡市

★一リモートで研修を受講した。

5 講師派遣

期日	研修内容	講師
8/26	インクルーシブ保育研修会	坂田 智子

6 その他

令和4年度は、施設の老朽化や室内環境改善のため、以下の改修工事を行った。外観も明るくなり、室内も冷暖房及び換気機能が向上した。過ごしやすい室内環境に整備された。

- (1) 建物外壁工事
- (2) 屋上、ベランダ防水工事
- (3) 空調機器増設及び取替並びに全熱交換器取付